

データ集

I. ACSA 会員事業者データ(回答数:93 事業者)	29
1. ACSA 会員事業者の概要	29
2. ACSA 会員事業者の事業全体の概要	30
(1)事業所数と登録家庭訪問保育者数	
(2)保育関連事業以外の事業の実施の有無	
(3)ACSA 会員事業者の合計売上及び構成比(エリア別)	
3. 保育関連サービス売上高	32
(1)全国の保育関連サービス売上高階層別事業者数	
(2)総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数	
4. 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス	33
(1)家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高階層別事業者数	
(2)家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率	
5. 家庭訪問保育サービス	33
(1)売上高階層別事業者数	
(2)家庭訪問保育利用システム	
6. 施設型保育サービス	35
(1)施設型保育サービス全体	
(2)直営施設での施設型保育サービス	
(3)委託施設での施設型保育サービス	
II. ACSA 会員事業者アンケートデータ(回答数:55 事業者)	37
1. 直近のひと月における利用家庭の概数	37
2. 家庭訪問保育の利用児童の年齢分布	37
3. 家庭訪問保育の利用児童数	37
4. 居宅で保育をする場合の規定	38
5. 多胎児のいる家庭での保育の状況	39
6. ベビーシッター派遣事業の割引券利用家庭でのきょうだい利用	39
7. きょうだい等、複数の子どもの利用に関する自由意見	39
参考:過去の実態調査における家庭訪問保育を利用する子どもの年齢	41
III. 家庭訪問保育者(ベビーシッター養成研修受講者)アンケートデータ(回答数:256 件)	41
1. 現在、又は今後の働き方	41
2. 研修の情報、受講動機	42
3. 稼働可能頻度・時間帯、希望する収入、担当できる年齢層	42
4. 家庭訪問保育という仕事について	43
(1)なぜ家庭訪問保育者になろうと思ったか	
(2)家庭訪問保育の利用が子どもや家庭にとってふさわしい点	
5. 今回受講した研修全般について	44
(1)時期・スケジュール	
(2)講義内容	
(3)講師の進め方	
(4)会場	
6. 家庭訪問保育者としてさらに向上するために獲得したいスキルや知識	44
7. 家庭訪問保育者の属性	45
(1)家庭訪問保育者としての経験年数	
(2)年齢	
(3)保育関連の保有資格	
(4)育児経験の有無	
(5)従事したことがある保育形態	
IV. 資格取得指定校学生アンケートデータ(回答数:2,269 件)	47
1. 学生のプロフィール	47
2. 「在宅保育論」について	47
3. 家庭訪問保育の利用について	48

I. ACSA 会員事業者データ (回答数:93 事業者)

1. ACSA 会員事業者の概要

表 I-1-1 設立年と事業開始年
(単位:事業者)

年	会社設立	事業開始
'67年	1	0
'68年	0	0
'69年	0	0
'70年	0	0
'71年	0	0
'72年	1	0
'73年	0	0
'74年	0	0
'75年	0	0
'76年	0	0
'77年	0	0
'78年	0	0
'79年	0	0
'80年	0	0
'81年	2	1
'82年	2	1
'83年	0	0
'84年	1	1
'85年	0	2
'86年	3	1
'87年	3	1
'88年	4	5
'89年	6	5
'90年	9	7
'91年	5	3
'92年	2	2
'93年	5	5
'94年	5	8
'95年	5	5
'96年	3	7
'97年	4	2
'98年	0	4
'99年	2	2
'00年	4	2
'01年	2	1
'02年	0	2
'03年	0	0
'04年	1	2
'05年	1	1
'06年	4	4
'07年	2	1
'08年	2	0
'09年	2	2
'10年	1	1
'11年	3	3
'12年	7	4
'13年	0	3
'16年	1	1
無回答	0	4
計	93	93

表 I-1-2 都道府県ごとの事業者数・事業所数

		事業者(社)		事業所(箇所)	
		各都道府県	ブロック計	各都道府県	ブロック計
関東・東北・北海道	北海道	2	18	7	105
	青森県	0			
	岩手県	0			
	宮城県	1			
	秋田県	0			
	山形県	0			
	福島県	0			
	茨城県	0			
	栃木県	0			
	群馬県	1			
	埼玉県	3			
	千葉県	4			
	神奈川県	7			
東京都		31	31	192	192
中部近畿	新潟県	3	27	5	106
	富山県	0			
	石川県	2			
	福井県	0			
	山梨県	0			
	長野県	1			
	岐阜県	0			
	静岡県	2			
	愛知県	5			
	三重県	1			
	滋賀県	0			
	京都府	4			
	大阪府	4			
兵庫県	5				
奈良県	0				
和歌山県	0				
中国・四国・九州	鳥取県	0	17	0	62
	島根県	0			
	岡山県	4			
	広島県	1			
	山口県	1			
	徳島県	1			
	香川県	0			
	愛媛県	1			
	高知県	1			
	福岡県	5			
	佐賀県	0			
	長崎県	0			
	熊本県	3			
	大分県	0			
宮崎県	0				
鹿児島県	0				
沖縄県	0				
計		93		465	

表 I-1-3 事業歴(単位:事業者)

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	総数
H30	1 1.1%	13 14.0%	10 10.7%	8 8.6%	61 65.6%	93 100%
H29	1 1.0%	14 14.6%	8 8.3%	8 8.3%	65 67.7%	96 100%
H28	5 5.2%	10 10.4%	7 7.3%	12 12.5%	62 64.6%	96 100%

2. ACSA会員事業者の事業全体の概要

(1)事業所数と登録家庭訪問保育者数

表 I-2-1 H30 年度の地域別の事業者数・事業所数・登録家庭訪問保育者の合計

H30	事業者数（社）		事業所数(箇所)		登録家庭訪問保育者数(人)		登録家庭訪問保育者数増減(人)
	数	割合	数	割合	数	割合	
東京除く関東・東北・北海道	18	19.4%	105	22.6%	2,446	11.7%	-140
東京	31	33.3%	192	41.3%	8,649	41.4%	+12
中部・近畿	27	29.0%	106	22.8%	5,167	24.7%	-230
中国・四国・九州	17	18.3%	62	13.3%	4,645	22.2%	+410
全国計	93	100%	465	100%	20,907	100%	+52

表 I-2-2 H29 年度の地域別の事業者数・事業所数・登録家庭訪問保育者の合計

H29	事業者数（社）		事業所数(箇所)		登録家庭訪問保育者数(人)	
	数	割合	数	割合	数	割合
東京除く関東・東北・北海道	21	21.9%	106	23.1%	2,586	12.4%
東京	31	32.3%	184	40.1%	8,637	41.4%
中部・近畿	27	28.1%	107	23.3%	5,397	25.9%
中国・四国・九州	17	17.7%	62	13.5%	4,235	20.3%
全国計	96	100%	459	100%	20,855	100%

(2)保育関連事業以外の事業の実施の有無

表 I-2-3 保育関連事業以外の事業の実施状況（単位：事業者）

	保育関連のみ実施	保育関連以外も実施	無回答	総数
H30	47	45	1	93
	50.5%	48.4%	1.1%	100%
H29	47	48	1	96
	49.0%	50.0%	1.0%	100%
H28	46	49	1	96
	47.9%	51.0%	1.0%	100%

表 I-2-4 地域別保育関連事業以外の事業の実施状況（単位：事業者）

	保育関連のみ実施	保育関連以外も実施	無回答	総数
東京都	15	15	1	31
	48.4%	48.4%	3.2%	100%
東京を除く関東・東北・北海道	9	9	0	18
	50.0%	50.0%	0.0%	100%
中部・近畿	16	11	0	27
	59.3%	40.7%	0.0%	100%
中国・四国・九州	7	10	0	17
	41.2%	58.8%	0.0%	100%

(3)ACSA 会員事業者の合計売上及び構成比(エリア別)

表 I-2-5 全国及びエリア別の合計売上及び構成比 (単位:万円)

	保育関連事業						保育 関連 事業 小計	その他 保育 以外	エリア 合計
	家庭訪問保育		施設型保育事業		保育所 養成 研修	その他 保育 関連			
	在宅 保育	在宅外 保育	直営 施設	委託 施設					
東京を 除く 関東 ・東北 ・北海道	46,208	9,237	97,357	192,598	0	120,148	465,548	76,125	541,673
	8.5%	1.7%	18.0%	35.5%	0.0%	22.2%	85.9%	14.1%	100%
東京都	311,918	65,773	1,292,844	1,811,665	12,916	376,676	3,871,792	587,981	4,459,773
	7.0%	1.5%	29.0%	40.6%	0.3%	8.4%	86.8%	13.2%	100%
中部・ 近畿	81,305	53,709	336,088	321,850	0	28,214	821,166	249,076	1,070,242
	7.6%	5.0%	31.4%	30.1%	0.0%	2.6%	76.7%	23.3%	100%
中国・ 四国・ 九州	22,671	18,305	295,362	662,184	3,307	34,287	1,036,116	244,532	1,280,648
	1.8%	1.4%	23.1%	51.7%	0.3%	2.7%	80.9%	19.1%	100%
全国計	462,102	147,024	2,021,651	2,988,297	16,223	559,325	6,194,622	1,157,714	7,352,336
	6.3%	2.0%	27.5%	40.6%	0.2%	7.6%	84.3%	15.7%	100%
	609,126		5,009,948		575,548				
	8.3%		68.1%		7.8%				

●1事業者あたりの売上構成

表 I-2-6 全国及びエリア別の1事業者あたりに換算した売上構成比 (単位:万円)

	保育関連事業						保育 関連 事業 小計	その他 保育 以外	総合計
	家庭訪問保育		施設型保育事業		保育所 養成 研修	その他 保育 関連			
	在宅 保育	在宅外 保育	直営 施設	委託 施設					
東京を除く関東 ・東北・北海道	2,567	513	5,409	10,700	0	6,675	25,864	4,229	30,093
東京都 ※1	10,397	2,192	43,095	60,389	431	12,556	129,060	19,599	148,659
中部・近畿	3,011	1,989	12,448	11,920	0	1,045	30,414	9,225	39,639
中国・四国・ 九州	1,334	1,077	17,374	38,952	195	2,017	60,948	14,384	75,332
全国平均 ※2	5,023	1,598	21,974	32,481	176	6,080	67,333	12,584	79,917

※1・・・無回答1事業者を除く30事業者の平均

※2・・・無回答1事業者を除く92事業者の平均

3. 保育関連サービス売上高(家庭訪問保育サービス+施設型保育サービス+その他の保育サービス)

(1) 全国の保育関連サービス売上高階層別事業者数

表 I-3-1 保育関連サービス売上高の階層別事業者数 (単位:事業者)

	2,500万円未満	2,500万円～5,000万円未満	5,000万円～1億円未満	1億～3億円未満	3億～5億円未満	5億～10億円未満	10億円以上	無回答	総数
H30	20	19	12	17	4	6	14	1	93
	21.5%	20.4%	12.9%	18.3%	4.3%	6.5%	15.1%	1.1%	100%
H29	24	20	11	17	2	7	14	1	96
	25.0%	20.8%	11.5%	17.7%	2.1%	7.3%	14.6%	1.0%	100%
H28	23	22	10	17	4	4	15	1	96
	24.0%	22.9%	10.4%	17.7%	4.2%	4.2%	15.6%	1.0%	100%
H30 東京	5	4	3	8	0	2	8	1	31
	16.1%	12.9%	9.7%	25.8%	0.0%	6.5%	25.8%	3.2%	100%
H29 東京	5	4	3	8	1	3	8	0	32
	15.6%	12.5%	9.4%	25.0%	3.1%	9.4%	25.0%	0.0%	100%
H30 その他	15	15	9	9	4	4	6	0	62
	24.2%	24.2%	14.5%	14.5%	6.5%	6.5%	9.7%	0.0%	100%
H29 その他	19	16	8	9	1	4	6	1	64
	29.7%	25.0%	12.5%	14.1%	1.6%	6.3%	9.4%	1.6%	100%

●保育関連市場占有状況

表 I-3-2 保育関連サービス市場の占有状況 (単位:万円)

		1～10位	11～20位	21～30位	31～40位	41～50位	51～60位	61～最下位
H30	売上高	4,478,441	1,135,889	270,439	122,039	82,065	44,884	60,865
	占有率	72.3%	18.3%	4.4%	2.0%	1.3%	0.7%	1.0%
H29	売上高	3,891,149	1,040,660	258,043	113,036	75,840	43,101	65,170
	占有率	70.9%	19.0%	4.7%	2.1%	1.4%	0.8%	1.2%
H28	売上高	3,565,259	1,012,442	254,079	117,902	75,204	43,302	65,563
	占有率	70.5%	19.8%	4.4%	2.2%	1.3%	0.8%	1.0%

(2) 総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数

表 I-3-3 総売上高に占める保育関連売上高の割合の階層別事業者数 (単位:事業者)

	100%	～100%未満	～80%	～50%	無回答	総数
H30	47	19	10	16	1	93
	50.5%	20.4%	10.8%	17.2%	1.1%	100%
H29	48	21	8	18	1	96
	50.0%	21.9%	8.3%	18.8%	1.0%	100%
H28	47	21	9	18	1	96
	49.0%	21.9%	9.4%	18.7%	1.0%	100%
H30 東京	14	7	3	6	1	31
	45.2%	22.6%	9.7%	19.4%	3.2%	100%
H30 その他	33	12	7	10	0	62
	53.2%	19.4%	11.3%	16.1%	0.0%	100%

4. 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス

(1)家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高階層別事業者数

表 I-4-1 家庭訪問保育サービス及び施設型保育サービス売上高の階層別事業者数（単位：事業者）

	2,500万未満	2,500万～5,000万円未満	5,000万～1億未満	1億～3億円未満	3億～5億円未満	5億～10億円未満	10億以上	無回答	総数
H30	24	17	12	17	3	6	13	1	93
	25.8%	18.3%	12.9%	18.3%	3.2%	6.5%	14.0%	1.1%	100%
H29	28	18	11	17	2	7	12	1	96
	29.2%	18.8%	11.5%	17.7%	2.1%	7.3%	12.5%	1.0%	100%
H28	27	20	11	16	5	3	13	1	96
	28.1%	20.8%	11.5%	16.7%	5.2%	3.1%	13.5%	1.0%	100%

(2)家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率

表 I-4-2 家庭訪問保育サービスと施設型保育サービスとの売上高比率の階層別事業者数(単位：事業者)

	100%	80%以上100%未満	50%以上80%未満	20%以上50%未満	20%未満	無回答	総数
H30	30	25	13	13	11	1	93
	32.3%	26.9%	14.0%	14.0%	11.8%	1.1%	100%
H29	29	29	11	14	12	1	96
	30.2%	30.2%	11.5%	14.6%	12.5%	1.0%	100%
H28	28	30	13	11	13	1	96
	29.2%	31.3%	13.5%	11.5%	13.5%	1.0%	100%

5. 家庭訪問保育サービス

(1)売上高階層別事業者数

表 I-5-1 家庭訪問保育サービス売上高の階層別事業者数(単位：事業者)

	1,000万円未満	1,000万～5,000万円未満	5,000万～1億円未満	1億～2億円未満	2億円以上	無回答	総数
H30	29	34	9	11	4	0	87
	33.3%	39.1%	10.3%	12.6%	4.6%	0.0%	100%
H29	26	41	9	11	2	2	91
	28.6%	45.0%	9.9%	12.1%	2.2%	2.2%	100%
H28	27	40	10	11	2	1	91
	29.7%	44.0%	11.0%	12.1%	2.2%	1.1%	100%
H30 東京	5	8	5	7	2	0	27
	18.5%	29.6%	18.5%	25.9%	7.4%	0.0%	100%
H29 東京	4	10	6	7	1	0	28
	14.3%	35.7%	21.4%	25.0%	3.6%	0.0%	100%
H30 その他	24	26	4	4	2	0	60
	40.0%	43.3%	6.7%	6.7%	3.3%	0.0%	100%
H29 その他	22	31	3	4	1	2	63
	34.9%	49.2%	4.8%	6.3%	1.6%	3.2%	100%

(2)家庭訪問保育利用システム

① 表 I-5-2 会員制の有無

あり	なし	総数
76	11	87
87.4%	12.6%	100%

②表 I-5-3 会員制の場合の入会金、会費、ビジター制の有無

入会金		会費		ビジター制		総数
あり	なし	あり	なし	あり	なし	
61	15	59	17	61	15	76
80.3%	19.7%	77.6%	22.4%	80.3%	19.7%	100%

③ 対象とする子どもの年齢

表 I-5-4 子どもの受け入れ開始年齢

0ヶ月	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	2歳	総数
64	11	6	3	2	1	87
73.6%	12.6%	6.9%	3.4%	2.3%	1.2%	100%

表 I-5-5 子どもの受け入れ終了年齢

設定なし	8歳0ヶ月	9歳0ヶ月	10歳0ヶ月	12歳0ヶ月	12歳11ヶ月	12歳12ヶ月	15歳0ヶ月	16歳0ヶ月	18歳0ヶ月	無回答	総数
4	2	5	12	46	4	3	4	1	2	4	87
4.6%	2.3%	5.7%	13.8%	52.9%	4.6%	3.4%	4.6%	1.2%	2.3%	4.6%	100%

④ 表 I-5-6 最低引き受け時間

1時間	1.5時間	2時間	3時間	4時間	無回答	総数
11	2	53	19	1	1	87
12.6%	2.3%	60.9%	21.8%	1.2%	1.2%	100%

⑤ 表 I-5-7 特別な保育ニーズへの対応

障害児保育		病後児保育		産褥期ケア		総数
あり	なし	あり	なし	あり	なし	
50	37	68	19	75	12	87
57.5%	42.5%	78.2%	21.8%	86.2%	13.8%	100%

⑥表 I-5-8 利用時間帯別 1時間あたりの平均利用料金

		基本時間	早朝	夜間	深夜
会員料金	平均料金	1,849 円	2,164 円	2,223 円	2,535 円
	事業者数	85 社	35 社	55 社	52 社
ビジター料金	平均料金	2,324 円	2,780 円	2,683 円	2,936 円
	事業者数	51 社	21 社	34 社	32 社

		基本時間	早朝	夜間	深夜
会員料金	東京	2,116 円(25 社)	2,507 円(8 社)	2,527 円(16 社)	2,884 円(15 社)
	東京以外	1,737 円(60 社)	2,063 円(27 社)	2,099 円(39 社)	2,393 円(37 社)
ビジター料金	東京	2,899 円(14 社)	3,985 円(4 社)	3,212 円(10 社)	3,464 円(9 社)
	東京以外	2,106 円(37 社)	2,496 円(17 社)	2,463 円(24 社)	2,730 円(23 社)

⑦ 2人目以降加算制と基本料金に対する加算割合

表 I-5-9 2人目以降加算制の設定

H30	あり	なし	総数	H27	あり	なし	総数
全国	82	5	87	全国	93	3	96
	94.3%	5.7%	100%		96.8%	3.2%	100%
東京	25	2	27	東京	30	0	30
	92.6%	7.4%	100%		100%	0.0%	100%
東京以外	57	3	60	東京以外	63	3	66
	95.0%	5.0%	100%		94.1%	5.9%	100%

表 I-5-10 基本料金に対する加算割合

0%	10%~	20%~	30%~	40%~	50%~	60%~	70%~	総数
3	4	13	12	6	41	1	1	81
3.7%	4.9%	16.0%	14.8%	7.4%	50.6%	1.2%	1.2%	100%

(平均値 40.3% 最小値 0% 最高値 70.2%)

6. 施設型保育サービス

(1) 施設型保育サービス全体

表 I-6-1 施設型保育サービスの実施の有無(単位:事業者)

	実施している	実施していない	無回答	総数
H30	66 71.0%	26 28.0%	1 1.0%	93 100%
H29	70 72.9%	25 26.0%	1 1.0%	96 100%
H28	71 74.0%	24 25.0%	1 1.0%	96 100%

表 I-6-2 地域別の直営施設、委託施設の数および売上

	施設数(箇所)		事業者当り施設数(箇所)		施設当たり売上(万円)	
	直営	委託	直営	委託	直営	委託
東京除く関東・東北・北海道	16	118	2.7	13.1	6,084	1,632
東京都	162	413	11.6	34.4	7,934	4,386
中部・近畿	100	185	6.7	11.6	3,361	1,740
中国・四国・九州	62	458	4.8	45.8	4,764	1,445
全国計	340	1,174	7.1	25.0	5,924	2,545

表 I -6-3 施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	～1,000万円 未満	1,000万 ～5,000万円 未満	5,000万 ～1億円 未満	1億 ～2億円 未満	2億 ～5億円 未満	5億円 以上	総数
H30	12 18.2%	21 31.8%	6 9.1%	5 7.6%	3 4.5%	19 28.8%	66 100%
H29	17 24.3%	19 27.1%	8 11.4%	3 4.3%	5 7.1%	18 25.7%	70 100%
H28	17 23.9%	19 26.8%	8 11.3%	4 5.6%	7 9.9%	16 22.5%	71 100%
H30 東京	3 15.8%	4 21.1%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	9 47.4%	19 100%
H30 その他	9 19.1%	17 36.2%	4 8.5%	4 8.5%	3 6.4%	10 21.3%	47 100%

(2)直営施設での施設型保育サービス

表 I -6-4 直営施設での施設型保育サービス実施の有無(単位:事業者)

	実施して いる	実施して いない	無回答	総数
H30	50 53.7%	42 45.2%	1 1.1%	93 100%
H29	51 55.2%	44 43.8%	1 1.0%	96 100%
H28	53 55.2%	42 43.8%	1 1.0%	96 100%

表 I -6-5 直営施設での施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	～1,000万円 未満	～5,000万円 未満	～1億円 未満	～3億円 未満	3億円 以上	総数
H30	11 22.0%	13 26.0%	6 12.0%	6 12.0%	14 28.0%	50 100%
H29	12 23.5%	12 23.5%	6 11.8%	7 13.7%	14 27.5%	51 100%
H28	15 28.3%	12 22.6%	4 7.5%	10 18.9%	12 22.6%	53 100%
H30 東京	0 0.0%	4 26.7%	1 6.7%	2 13.3%	8 53.3%	15 100%
H30 その他	11 31.4%	9 25.7%	5 14.3%	4 11.4%	6 17.1%	35 100%

(3)委託施設での施設型保育サービス

表 I -6-6 委託施設での施設型保育サービス実施の有無(単位:事業者)

	実施して いる	実施して いない	無回答	総数
H30	49 52.7%	43 46.2%	1 1.1%	93 100%
H29	50 52.1%	45 46.9%	1 1.0%	96 100%
H28	50 52.1%	45 46.9%	1 1.0%	96 100%

表 I-6-7 委託施設での施設型保育サービス売上高の階層別事業者数(単位:事業者)

	～1,000万円未満	～5,000万円未満	～1億円未満	～3億円未満	3億円以上	総数
H30	10	13	6	3	17	49
	20.4%	26.5%	12.2%	6.1%	34.7%	100%
H29	14	11	5	4	16	50
	28.0%	22.0%	10.0%	8.0%	32.0%	100%
H28	14	10	5	4	17	50
	28.0%	20.0%	10.0%	8.0%	34.0%	100%
H30 東京	3	0	1	0	9	13
	23.1%	0.0%	7.7%	0.0%	69.2%	100%
H30 その他	7	13	5	3	8	36
	19.4%	36.1%	13.9%	8.3%	22.2%	100%

II. ACSA 会員事業者アンケートデータ (55 事業者 回収率 62.5%)

調査時期 2018年7月23日(月)～30日(月)

調査対象 公益社団法人全国保育サービス協会事業者会員 88社

回収数 55事業者 回収率 62.5%

手続き 直近のひと月における利用家庭の概数を各事業者に尋ね、年齢別割合やきょうだい利用の割合を回答してもらった。その割合を使用し、事業者ごとに算出した実数を合計した数字に基づき、割合を出した。

1. 直近のひと月における利用家庭の概数 (利用回数や時間数に関係なく、利用家庭を1とカウント)

表 II-1-1 直近のひと月における利用家庭の概数

0件	10件未満	10件以上 50件未満	50件以上	100件以上	200件以上	500件以上	1000件 以上	総数
3	11	15	8	7	7	2	2	55
5.5%	20.0%	27.3%	14.5%	12.7%	12.7%	3.6%	3.6%	100%

2. 家庭訪問保育の利用児童の年齢分布

表 II-2-1 家庭訪問保育の利用児童の年齢分布

0歳	1・2歳	3歳	4・5歳	小学生以上	総数
1,737	2,111	1,060	1,226	1,090	7,224
24.0%	29.2%	14.7%	17.0%	15.1%	100%

3. 家庭訪問保育の利用児童数

表 II-3-1 家庭訪問保育の利用児童数

1人	2人	3人以上	総数
5,364	1,668	192	7,224
74.3%	23.1%	2.7%	100%

表Ⅱ-3-2 複数で保育する場合の年齢構成

全員3歳未満児	3歳未満児と4・5歳児	4・5歳児	3歳未満児と学童	4・5歳児と学童	学童の組み合わせ	総数
453	460	183	263	291	210	1860
24.4%	24.7%	9.8%	14.1%	15.6%	11.3%	100%

4. 居宅で保育をする場合の規定

表Ⅱ-4-1 保育者1人に対する対象児童の人数を定めているか

特に決めていない	1人と定めている	2人までと定めている	3人までと定めている	()と定めている	その他	無回答	総数
3	5	21	17	0	6	3	55
5.5%	9.1%	38.2%	30.9%	0.0%	10.9%	5.5%	100%

表Ⅱ-4-2 複数利用での保育の条件(複数回答)

きょうだいに限る	年齢に条件をつけている	保育の場所に条件をつけている	その他	総数
33	15	17	14	44
75.0%	34.1%	38.6%	31.8%	100%

具体的条件

○保育の場所

子どもの居宅がほとんどであり、祖父母宅が含まれる場合もある。

居宅以外の場合は、保育者を複数制とする事業者があるとともに、送迎については児童が複数になることを認めない事業者もある。

○子どもの年齢に関する規定

<年齢により児童数を規定>

0歳児は1対1と規定する事業者は4事業者。

0, 1歳児は子ども2人までと規定する事業者は3事業者。

1家庭1保育者を基本とするが、0～2歳児が含まれている場合は保育者を1人増やす。

それ以上の年齢については、以下のような例もある。

- ・2, 3歳児は子ども3人に保育者1人、4歳以上は子ども4人に保育者1人
- ・3歳以上は子ども3人に保育者1人
- ・小学校高学年は、見守りのみとなるため、人数制限対象外(但し、相談にて決定)
- ・その時の状況や年齢により判断
- ・年齢とご利用時間、時間帯、環境、サービス内容により安全面を考慮して受入を検討。
- ・年齢に応じてスタッフの人数を決めている。
- ・1人のシッターで責任を持って見れる場合

○その他

- ・1歳以下の子どもを含めた「3人」の場合は保護者がいること
- ・3人以上の場合、年齢にもよるが、家族又は保育士増員を、依頼の際相談やイベント保育としての保育を勧めている。
- ・お子様の年齢構成、保育環境等により安全に保育できると判断できる場合に限る。
- ・家庭に保護者がいる場合には、1家庭1シッターとする。家庭外で保護者がいる場合、子ども年齢、保育環境で複数シッターとする
- ・その場にその他のみまもりができる方がいる場合は、協力してもらう。
- ・体調、障害のある場合などケースにより。
- ・保育者1名で対応できる体調の子どもである
- ・保険対象内での配置計算でスタッフ数を決定

5. 多胎児のいる家庭での保育の状況

表Ⅱ-5-1 保育者1人が担当できる子ども数の上限を定めているか

定めていない	定めている	無回答	総数
9	41	5	55
16.4%	74.5%	9.1%	100%

表Ⅱ-5-2 定めている場合の上限

1人	2人	3人	その他	総数
5	27	6	3	41
12.2%	65.9%	14.6%	7.3%	100%

表Ⅱ-5-3 保護者が在宅か不在かにより、対象人数は変わるか

変わらない	変わる	無回答	総数
37	15	3	55
67.3%	27.3%	5.5%	100%

表Ⅱ-5-4 変わる場合の人数

1人	2人	3人	その他	総数
3	6	5	1	15
20.0%	40.0%	33.3%	6.7%	100%

6. ベビーシッター派遣事業の割引券利用家庭でのきょうだい利用

表Ⅱ-6-1 ベビーシッター派遣事業の割引券利用家庭でのきょうだい利用

ない	ある	無回答	総数
29	23	3	55
52.7%	41.8%	5.5%	100%

表Ⅱ-6-2 きょうだい利用のひと月あたりの割合

1割未満	1割	2割	3割	4割	5割	6割	7割	8割	9割	10割	無回答	総数
1	2	6	5	3	1	1	0	1	0	1	2	23
4.3%	8.7%	26.1%	21.7%	13.0%	4.3%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%	4.3%	8.7%	100%

7. きょうだい等、複数の子どもの利用に関する自由意見

- お子様の年齢問わず、同室の場合は料金の対象とさせて頂いておりますが、上のお子様が中学生になられているケースも多い。乳幼児1人…とされているが、上の子が小学生の場合はどう考えればよいか。
- 家庭訪問保育は園での保育と違い、室内の環境、年齢、親の考え方、在宅、病院など、バリエーションが多いので、その上で複数の子どもを保育する事は非常に難易度が多くなる場合がある。
- 保育が長時間にわたる場合、子どもの年齢差によっては活動内容等で難しい点がある。
- 事務所コーディネーターが必ず依頼者宅(又は保育現場)に出向き、事前確認をする事を第一義としている。
- 区の支援については、子育て支援の中で、産後うつ、児童虐待を目的としている為、1対1での保育が必要である事は理解する。通常のベビーシッターのご利用の場合は、各家庭に兄弟、双子、多胎児がいらっしゃることは自然な子育てであり、保護者の代わりに必要なお子様のお世話についてしっかりと引き継ぎを行い、ベビーシッター1人で対応する事は十分に可能な事だと考える。1対1の保育が求められる場合、人材の確保、料金について大変悩ましい問題になるかと思う。

- 安全性の観点で言えば、1対1の預かりを徹底するのは賛成である。しかし、利用料金や家の中に他人が2人以上いることへの懸念 etc. 利便性の面では、兄弟預かりが認められてほしい。
- 状況に応じて常に3人を見るなどでなければ、受けることもある。
- 昨年、地方公共団体の調査が入り、指導があった。今年度よりシッター1名に対し、お子様1名でベビーシッターを配置するようにしている。
- 当社のシッターがお客様宅等でシッティングする際に、お客様のお子様から2名、もしくは3名と複数のご兄弟(乳幼児より学童まで)がいらした状況で、且つ、お客様宅に保護者の方がおられない場合は、ご兄弟全てのお子様に対して安全確保等の責任が当社へ発生することになる。このケースの場合は、当社基準(シッター1名で0歳、1歳児は2人まで、2歳児以上は3人まで)により、シッター1名でご兄弟のお世話をし、ご兄弟の追加料金をいただき、対応するスタッフへの時給加算を行っている。お子様追加料金は、シッター2名、3名を対応させるよりも安価です。1対1の保育をすることで、公的助成を受けないお客様へその対価の負担を強いるのはいかなものかと思う。
- 基本的に、保育者1名に対し子どもは2名までとしているが、保護者からの要望があった場合、子どもの年齢構成や体調、保育場所、保育の内容等を考慮して問題と判断できれば3名を預かることがある。ベビーシッターは家庭的な保育を提供していることから、保護者も”いつも自分たちが子どもをみているのと同じような形態でサービスを利用できる”という感覚を持っている。つまり、普段から保護者1名で複数名の子どもの安全を保つことができているのだから、プロのシッターなら然りと考えている人が多いということである。また、質問8について、1点補足する。保護者が在宅の場合、保育者と一緒に子どもの世話をすることは、預かれる子どもの人数制限を緩和できるが、保護者が別室にこもるなどして子どもを保育するのが保育者のみである場合は、保護者不在時と同様の人数制限を適用する。
- 家庭訪問保育はすべてに「1対1」は運営上厳しいものがある。一方で、1対1が望ましい年齢(月齢)(歩き始め等)もあるので、年齢を定めていただくのも良いかと思う。
- 家計の負担と安全性との兼ね合いから、保育者は2名までとしている。
- 子ども1人にシッター1人と決められると、複数の子どもを持つ家庭の経済的負担が大きくなりすぎて、利用ができなくなる。
- 昨年度地方自治体より、未就学児のお子様1名につき、スタッフ1名配置との通知をいただいている。お客様にもその様にご案内しているが、中には個人のお宅にスタッフが複数お伺いすることに抵抗がある方もいる。
- お子様の年齢、環境で見るお子様の数は相談させていただいている。兄弟の場合、シッター1人で見るのは困難な家庭も過去たくさんあった。親は1人で見れるでしょう・・・、と言われ、対策は大変だった。
- 「家庭とは」子どもにとって、親にとって何であるかを基本に考慮し、その家庭に最もふさわしいシッターを配している。その日その家庭での保育環境と、子どもたち保護者にとって安心、安全かつ生活のよこび、成長をなにより心の安定を配慮したシッター人数を配している。その日シッターは母親であり、母親の愛情以上に応えようと努力する。子どもの人数＝シッター人数、保育者人数で割りきれものではない。集団保育とは違う最愛の兄弟たちなのである。
- せまい部屋に大人が何人も来る事に意見するお客様は多い。
- 1人で複数の子どもを保育するのと、複数で複数の子どもを保育するのでは、1人あたりの許容範囲がだいぶ変わる。お子様の年齢、人数、場所、性別、注意事項等を必ずヒアリングした上で、スタッフの人数は決めている。一応基準を設けてはいますが、臨機応変に対応している。
- 弊社では20年以前からABA(当時)の基準で保育者1対お子様2を守っております。

参考:過去の実態調査における家庭訪問保育を利用する子どもの年齢

表Ⅱ-8-1 家庭訪問保育を利用する子どもの年齢

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳
2012年	18 6.5%	36 12.9%	39 14.0%	23 8.3%	34 12.2%	22 7.9%	23 8.3%	26 9.4%	19 6.8%	14 5.0%	8 2.9%
2015年	21 15.4%	14 10.3%	18 13.2%	17 12.5%	11 8.1%	14 10.3%	13 9.6%	9 6.6%	10 7.4%	4 2.9%	2 1.5%
2016年	19 13.0%	22 15.1%	17 11.6%	21 14.4%	18 12.3%	10 6.8%	14 9.6%	6 4.1%	7 4.8%	6 4.1%	1 0.7%
2017年	18 11.7%	24 15.6%	11 7.1%	15 9.7%	22 14.3%	13 8.4%	17 11.0%	8 5.2%	7 4.5%	4 2.6%	8 5.2%

	11歳	12歳	13歳	16歳	総数
2012年	10 3.6%	3 1.1%	2 0.7%	1 0.4%	278 100%
2015年	3 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	136 100%
2016年	4 2.7%	0 0.0%	1 0.7%	0 0.0%	146 100%
2017年	2 1.3%	1 0.6%	4 2.6%	0 0.0%	154 100%

表Ⅱ-8-2 家庭訪問保育を利用する家庭でのきょうだい利用の割合

	件数	うち、きょうだいでの 利用がある家庭
2012年	180	86 47.8%
2015年	113	28 24.8%
2016年	107	36 33.6%
2017年	113	49 43.4%

Ⅲ. 家庭訪問保育者(ベビーシッター養成研修受講者)アンケートデータ

(回収数:256件)

1. 現在、又は今後の働き方

表Ⅲ-1-1 現在、又は今後の働き方

①ベビーシッター事業者に所属	94	36.7%
②ベビーシッター事業者からの業務委託	29	11.3%
③ファミリーサポートセンター会員として従事	16	6.3%
④シルバー人材センター等地域の団体に登録	5	2.0%
⑤個人で依頼を受ける	11	4.3%
⑥マッチングサイトに登録	7	2.7%
⑦保育施設で従事している	24	9.4%
⑧今後どのようにするかはまだ決めていない	36	14.1%
⑨その他	18	7.0%
無回答	16	6.3%
総数	256	100%

2. 研修の情報、受講動機

表Ⅲ-2-1 研修をどのように知ったか（複数回答）

①所属する会社や団体からの情報	149	58.2%
②全国保育サービス協会のホームページ	69	27.0%
③全国保育サービス協会への電話での問い合わせ	5	2.0%
④自治体からの案内	11	4.3%
⑤知り合いなどの口コミ	17	6.6%
⑥その他	22	8.6%
総数	256	100%

表Ⅲ-2-2 研修を受講した動機（複数回答）

①所属する会社や団体から受講を勧められた	61	23.8%
②今後従事する保育に受講が義務づけられている	6	2.3%
③認定ベビーシッター資格を取得したい	133	52.0%
④家庭訪問保育について学びたいと思った	103	40.2%
⑤子どもの保育に参考になる知識や技術を学びたいと思った	129	50.4%
⑥その他	12	4.7%
無回答	2	0.8%
総数	256	100%

3. 稼働可能頻度・時間帯、希望する収入、担当できる年齢層

表Ⅲ-3-1 現在(今後)の稼働可能頻度

毎日でも働ける	週の半分くらい (2~3日) 働ける	週1回程度 働ける	自分の都合の 良い日のみ 働ける	無回答	総数
49	83	7	96	21	256
19.1%	32.4%	2.7%	37.5%	8.2%	100%

表Ⅲ-3-2 始業時間

何時からでも 可能	決まった時間 から	無回答	総数
73	164	19	256
28.5%	64.1%	7.4%	100%

表Ⅲ-3-3 「決まった時間から」の場合の始業時間

7:00 から	7:30 から	8:00 から	8:30 から	9:00 から	9:30 から	10:00 から	10:30 から	11:00 から	13:00 から	15:00 から	15:30 から
5	2	27	6	61	7	36	2	2	1	1	1
3.0%	1.2%	16.5%	3.7%	37.2%	4.3%	22.0%	1.2%	1.2%	0.6%	0.6%	0.6%

16:30 から	17:00 から	18:00 から	19:00 から	総数
1	2	7	3	164
0.6%	1.2%	4.3%	1.8%	100%

表Ⅲ-3-4 終業時間

何時まででも 可能	決まった時間 まで	無回答	総数
66	162	28	256
25.8%	63.3%	10.9%	100%

表Ⅲ-3-5 「決まった時間まで」の終業時間

10:00 まで	12:00 まで	13:00 まで	14:00 まで	15:00 まで	16:00 まで	17:00 まで	18:00 まで	19:00 まで	20:00 まで	21:00 まで	22:00 まで	23:00 まで	24:00 まで	26:00 まで	総数
3	1	1	7	11	18	31	30	12	18	15	6	6	2	1	162
1.9%	0.6%	0.6%	4.3%	6.8%	11.1%	19.1%	18.5%	7.4%	11.1%	9.3%	3.7%	3.7%	1.2%	0.6%	100%

表Ⅲ-3-6 宿泊

できる	できない	無回答	総数
68	163	25	256
26.6%	63.7%	9.8%	100%

表Ⅲ-3-7 希望する収入

1万円 未満	1万円 以上	2万円 以上	3万円 以上	4万円 以上	5万円 以上	6万円 以上	7万円 以上	8万円 以上	9万円 以上	10万円 以上	15万円 以上	20万円 以上	無回答	総数
5	5	21	23	18	46	12	14	16	4	27	15	25	25	256
2.0%	2.0%	8.2%	9.0%	7.0%	18.0%	4.7%	5.5%	6.3%	1.6%	10.5%	5.9%	9.8%	9.8%	100%

表Ⅲ-3-8 担当できる(と思う)子どもの年齢層 (複数回答)

乳児	1, 2, 3歳児	4, 5歳児	小学生	中学生	無回答	総数
190	233	212	164	69	8	256
74.2%	91.0%	82.8%	64.1%	27.0%	3.1%	100%

4. 家庭訪問保育という仕事について

(1)なぜ家庭訪問保育者になろうと思ったか

表Ⅲ-4-1 なぜ家庭訪問保育者になろうと思ったか (複数回答)

①一人ひとりの子どもにじっくり対応できるから	109	42.6%
②集団ではなく個別的に子どもに対応できるから	86	33.6%
③働く時間を自分で選べ、時間に融通が利く仕事だから	128	50.0%
④持っている資格や経験を生かせるから	71	27.7%
⑤子育ての経験を生かせるから	137	53.5%
⑥保護者の子育てを支援したかったから	148	57.8%
⑦子どもと接する仕事につきたかったから	143	55.9%
⑧その他	21	8.2%
無回答	6	2.3%
総数	256	100%

(2)家庭訪問保育の利用が子どもや家庭にとってふさわしい点

表Ⅲ-4-2 家庭訪問保育の利用が子どもや家庭にとってふさわしい点 (複数回答)

①子どもが慣れた環境で過ごすことができる	212	82.8%
②子どもが安心して過ごすことができる	178	69.5%
③子どもの状況やニーズにあわせた保育ができる	165	64.5%
④家庭の養育方針にそって保育することができる	111	43.4%
⑤子どもの生活リズムを尊重した過ごし方ができる	150	58.6%
⑥子どもの家族(きょうだいや祖父母、祖父母、在宅勤務の保護者等)と過ごせる	60	23.4%
⑦体調不良の子どもが移動する必要がない	145	56.6%
⑧子どもの負担が少ない	131	51.2%
⑨その他	9	3.5%
無回答	9	3.5%
総数	256	100%

5. 今回受講した研修全般について

(1) 時期・スケジュール

表Ⅲ-5-1 時期・スケジュール

とても良かった	良かった	あまり 良くなかった	全く 良くなかった	無回答	総数
83	141	18	1	13	256
32.4%	55.1%	7.0%	0.4%	5.1%	100%

(2) 講義内容

表Ⅲ-5-2 講義内容

とても参考になった	参考になった	あまり参考にならなかった	全く参考にならなかった	無回答	総数
158	84	0	0	14	256
61.7%	32.8%	0.0%	0.0%	5.5%	100%

(3) 講師の進め方

表Ⅲ-5-3 講師の進め方

とてもわかりやすかった	わかりやすかった	ややわかりにくかった	非常にわかりにくかった	無回答	総数
113	125	5	0	13	256
44.1%	48.8%	2.0%	0.0%	5.1%	100%

(4) 会場

表Ⅲ-5-4 会場

とても良かった	良かった	あまり 良くなかった	全く 良くなかった	無回答	総数
84	137	22	1	12	256
32.8%	53.5%	8.6%	0.4%	4.7%	100%

6. 家庭訪問保育者としてさらに向上するために獲得したいスキルや知識

表Ⅲ-6-1 家庭訪問保育者としてさらに向上するために獲得したいスキルや知識（複数回答）

①保育技術に関すること(遊び、食事、排泄等の生活面での援助の仕方など)	150	58.6%
②保育の原理や理論に関すること	57	22.3%
③子どもの発達や心理についての理解	155	60.5%
④保護者理解と対応	130	50.8%
⑤事故・災害時の対応・救急法	141	55.1%
⑥子どもがかかりやすい病気や症状についての理解	121	47.3%
⑦リスクマネジメントと賠償保障、法的責任など	78	30.5%
⑧資格取得のための知識	28	10.9%
⑨その他	8	3.1%
無回答	17	6.6%
総数	256	100%

表Ⅲ-6-2 家庭訪問保育の経験の有無別獲得したいスキルや知識

	①保育技術に関する こと(遊び、 食事、排泄 等の生活面 での援助の 仕方など)	②保育の 原理や理 論に関する こと	③子どもの 発達や心 理について の理解	④保護者 理解と対 応	⑤事故・災 害時の対 応・救急法	⑥子どもが かかりやす い病気や 症状につ いての理解	⑦リスクマ ネジメントと 賠償保障、 法的責任 など	⑧資格取 得のための 知識	総数
全体	146 60.1%	55 22.6%	150 61.7%	127 52.3%	138 56.8%	117 48.1%	75 30.9%	28 11.5%	243 100%
経験あり	93 60.8%	32 20.9%	92 60.1%	78 51.0%	86 56.2%	75 49.0%	43 28.1%	22 14.4%	153 100%
経験なし	53 58.9%	23 25.6%	58 64.4%	49 54.4%	52 57.8%	42 46.7%	32 35.6%	6 6.7%	90 100%

7. 家庭訪問保育者の属性

(1)家庭訪問保育者としての経験年数

表Ⅲ-7-1 経験年数

なし	あり							無回答	総数
		1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上		
90	153	54	50	18	15	7	9	13	256
35.2%	59.8%	35.3%	32.7%	11.8%	9.8%	4.6%	5.9%	5.1%	100%

*「あり」の内訳の割合は、「あり」の総数 153 に対する割合

表Ⅲ-7-2 家庭訪問保育の経験の有無

あり	なし	無回答	総数
153	90	13	256
59.8%	35.2%	5.1%	100%

表Ⅲ-7-3 年齢別経験年数

	なし	1年未満	1年以上	3年以上	5年以上	7年以上	10年以上	無回答	総数
全体	90 36.4%	54 21.9%	50 20.2%	18 7.3%	15 6.1%	7 2.8%	9 3.6%	4 1.6%	247 100%
30歳未満	14 56.0%	6 24.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100%
30歳代	17 45.9%	10 27.0%	5 13.5%	1 2.7%	1 2.7%	2 5.4%	1 2.7%	0 0.0%	37 100%
40歳代	17 27.0%	11 17.5%	17 27.0%	6 9.5%	7 11.1%	1 1.6%	2 3.2%	2 3.2%	63 100%
50歳代	24 32.4%	16 21.6%	14 18.9%	9 12.2%	5 6.8%	1 1.4%	3 4.1%	2 2.7%	74 100%
60歳以上	18 37.5%	11 22.9%	10 20.8%	1 2.1%	2 4.2%	3 6.3%	3 6.3%	0 0.0%	48 100%

(2)年齢

表Ⅲ-7-4 年齢構成

20歳未満	20歳以上	25歳以上	30歳以上	35歳以上	40歳以上	45歳以上	50歳以上	55歳以上	60歳以上	65歳以上	無回答	総数
0	9	16	13	24	35	28	44	30	23	25	9	256
0.0%	3.5%	6.3%	5.1%	9.4%	13.7%	10.9%	17.2%	11.7%	9.0%	9.8%	3.5%	100%

(3) 保育関連の保有資格

表Ⅲ-7-5 家庭訪問保育者の保有資格（複数回答）

特になし	ABA・ACSA 認定ベビー シッター資格	保育士	幼稚園 教諭	看護師・ 保健師・ 助産師	小学校 教諭・ 養護教諭	他 保育関連 資格	無回答	総数
146	5	46	30	8	6	33	19	256
57.0%	2.0%	18.0%	11.7%	3.1%	2.3%	12.9%	7.4%	100%

表Ⅲ-7-6 家庭訪問保育者の保有資格

保育士	看護師・ 保健師・ 助産師	ABA・ACSA 認定ベビー シッター資格	幼稚園・ 小学校教諭	他 保育関連 資格	特になし	無回答	総数
46	5	4	10	26	146	19	256
18.0%	2.0%	1.6%	3.9%	10.2%	57.0%	7.4%	100%

保育士、看護師等、認定ベビーシッター資格の順に優先順位を決め、保有する資格を1つだけカウントした結果

(4) 育児経験の有無

表Ⅲ-7-7 家庭訪問保育者の育児経験

育児経験 あり	育児経験 なし	無回答	総数
189	56	11	256
73.8%	21.9%	4.3%	100%

表Ⅲ-7-8 家庭訪問保育の経験の有無別年齢

	20歳 以上	25歳 以上	30歳 以上	35歳 以上	40歳 以上	45歳 以上	50歳 以上	55歳 以上	60歳 以上	65歳 以上	総数
全体	9 3.7%	16 6.6%	13 5.3%	24 9.9%	33 13.6%	28 11.5%	43 17.7%	29 11.9%	23 9.5%	25 10.3%	243 100%
経験 あり	4 2.6%	7 4.6%	9 5.9%	11 7.2%	23 15.0%	21 13.7%	29 19.0%	19 12.4%	16 10.5%	14 9.2%	153 100%
経験 なし	5 5.6%	9 10.0%	4 4.4%	13 14.4%	10 11.1%	7 7.8%	14 15.6%	10 11.1%	7 7.8%	11 12.2%	90 100%

(5) 従事したことがある保育形態

表Ⅲ-7-9 家庭訪問保育以外に従事したことがある保育形態（複数回答）

幼稚園	保育所	認定 こども園	認可外 保育施設	事業所内 保育施設	家庭的 保育	その他の 保育事業	ない	無回答	総数
24	83	15	42	45	29	32	85	9	256
9.4%	32.4%	5.9%	16.4%	17.6%	11.3%	12.5%	33.2%	3.5%	100%

IV. 資格取得指定校学生アンケートデータ

(配布数:3,382 件、回収数:2,273 件、回収率 67.2%)

うち、有効回答 2,269 件、有効回収率 67.1%)

1. 学生のプロフィール

表IV-1-1 学校種別

4 年制 大学	短期大学	専門学校	総数
514	1,633	122	2,269
22.7%	72.0%	5.4%	100%

表IV-1-2 学校種別履修時の学年

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	無回答	総数
全体	9 0.4%	1,593 70.2%	441 19.4%	218 9.6%	8 0.4%	2,269 100%
4 年制 大学	0 0.0%	0 0.0%	296 57.6%	218 42.4%	0 0.0%	514 100%
短期大学	9 0.6%	1,471 90.1%	145 8.9%	0 0.0%	8 0.5%	1,633 100%
専門学校	0 0.0%	122 100%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	122 100%

表IV-1-3 家庭訪問保育の経験

経験は ない	経験が ある	無回答	総数
1,973	292	4	2,269
87.0%	12.9%	0.2%	100%

2. 「在宅保育論」について

表IV-2-1 「在宅保育論」履修の動機（複数回答）

①資格が取れる	2,079	91.6%
②就職に有利だと思った	906	39.9%
③在宅保育や家庭訪問保育に関心があった	755	33.3%
④あまり知られていないので、興味を持った	204	9.0%
⑤自分の子育ての参考になると思った	706	31.1%
⑥その他	73	3.2%
無回答	13	0.6%
総数	2,269	100%

表Ⅳ-2-2 「在宅保育論」が参考になった点（複数回答）

①子育て家庭のニーズを把握できた	1,003	44.2%
②家庭での子育ての方法を学べた	1,223	53.9%
③在学中に学んだことの総まとめになった	433	19.1%
④個別に対応する保育について学べた	971	42.8%
⑤家庭訪問保育の方法や技術を学べた	1,119	49.3%
⑥ベビーシッター事業について知識が得られた	1,428	62.9%
⑦多様な保育を知る事が出来た	875	38.6%
⑧その他	11	0.5%
無回答	33	1.5%
総数	2,269	100%

3. 家庭訪問保育の利用について

表Ⅳ-3-1 家庭訪問保育のどのような点が子どもや家庭にとって良いか（複数回答）

①子どもが慣れた環境で過ごすことができる	1,756	77.4%
②子どもが安心して過ごすことができる	1,389	61.2%
③子どもの状況やニーズにあわせた保育ができる	1,536	67.7%
④家庭の養育方針にそって保育することができる	883	38.9%
⑤子どもの生活リズムを尊重した過ごし方ができる	1,199	52.8%
⑥子どもの家族(きょうだいや祖父母、在宅勤務の保護者等)と過ごせる	452	19.9%
⑦体調不良の子どもが移動する必要がない	883	38.9%
⑧子どもの負担が少ない	836	36.8%
⑨その他	12	0.5%
無回答	14	0.6%
総数	2,269	100%

表Ⅳ-3-2 家庭訪問保育のような保育が普及し、必要な子育て家庭が利用できるようになること

①とても必要だと思う	1,351	59.5%
②やや必要だと思う	770	33.9%
③わからない	119	5.2%
④あまり必要ないと思う	6	0.3%
⑤まったく必要ないと思う	1	0.04%
無回答	22	1.0%
総数	2,269	100%

調査票

平成 30 年度 会員事業者実態調査票

平成 30 年度 家庭訪問保育者実態調査票

平成 30 年度 家庭訪問保育利用者実態調査票

家庭訪問保育の対象人数・年齢に関するアンケート

直近のひと月の間の家庭訪問保育の利用状況について、お答えください。

1. 家庭訪問保育の利用家庭はひと月に何件ありますか？のべ利用日数にかかわらず利用家庭を1と数えてください。概数で結構ですので、実数を入れてお答えください。

約 件

2. 家庭訪問保育の対象児童の年齢分布をおおまかに入れてください。全体を10としたときの割合を数字で入れてください。数字は小数点第一位までとします。

(注：未就学の6歳児は4.5歳として数えて下さい)

年齢区分	割合
0歳	割
1. 2歳	割
3歳	割
4. 5歳	割
小学生以上	割
合計	10割

3. 家庭訪問保育の対象児童の人数の割合をおおまかに入れてください。全体を10としたときの割合を数字で入れてください。数字は小数点第一位までとします。

人数	割合
1人	割
2人	割
3人以上	割
合計	10割

4. 複数の子どもを保育する際の年齢構成の割合をおおまかに入れてください。全体を10としたときの割合を数字で入れてください。数字は小数点第一位までとします。
(注：未就学の6歳児は4.5歳として数えて下さい)

年齢構成	割合
全員3歳未満児	割
3歳未満児と4,5歳児	割
4,5歳児(就学前児童)	割
3歳未満児と学童	割
4,5歳児と学童	割
学童(以上)の組み合わせ	割
合計	10割

5. 貴事業所では家庭から依頼を受け、居宅で保育をする場合に、保育者1人に対する対象児童の人数を定めていますか。(○は1つ)

1. 特に決めていない。 → 7. にお進みください。
2. 1人と定めている。 → 7. にお進みください。
3. 2人までと定めている。 → 6. にお進みください。
4. 3人までと定めている。 → 6. にお進みください。
5. () までと定めている。 → 6. にお進みください。

6. 5. の質問で、3～5に○をした方がお答えください。

複数での保育を受託する際、定めている条件はありますか。(該当するもの全てに○を)

1. きょうだいに限る
2. 年齢に条件をつけている。
具体的にお書きください。例) 3歳以上の子どもに限定している

3. 保育の場所に条件をつけている。
具体的にお書きください。例) 居宅での保育に限る。

4. その他 例)保護者やその他の家族がいる。

7. 多胎児のいる家庭での保育の状況についてお尋ねします。

双子やそれ以上の人数の子どもの場合、保育者1人が担当できる子ども数の上限を定めていますか。(○は1つ)

1. 定めていない

2. 定めている ⇒ 保育者1人で () 人まで保育できる。

8. 保護者が在宅か不在かにより、対象人数が変わりますか。

1. 変わらない

2. 変わる ⇒ 保護者が在宅の場合、保育者1人で () 人まで保育できる。

9. ベビーシッター派遣事業の割引券を使用する家庭で、きょうだいを利用する例がありますか。

1. ない

2. ある

└─▶ ひと月あたりの割合で言うとどのくらいになりますか。

約 () 割

あるいは () 件中 () 件

*答えやすい方でお答えください。

10. その他、複数の子どもを保育することについて、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきありがとうございました。

平成30年度 家庭訪問保育者実態調査票

この調査は、公益社団法人全国保育サービス協会が実施するものです。現在または今後、家庭訪問保育に従事する方々の実態を把握することにより、より一層家庭訪問保育を発展・向上させるための基礎資料とすることを目的としています。

調査でお聞きする内容は、コンピュータで処理をし、統計的に分析します。収集されたデータについては注意を持って取り扱い、回答された方の個々のデータが公表されることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、この調査では、従来のベビーシッター事業を家庭訪問保育と呼び、保育に従事する方は家庭訪問保育者と呼びます。研修終了までの提出にご協力ください。

Q1 現在、どのように家庭訪問保育に従事していますか。現在、従事していない方は今後どのように従事する予定かお答えください。複数に該当する方は主な働き方を一つだけ選んでください。

①ベビーシッター事業者に所属	
②ベビーシッター事業者からの業務委託	
③ファミリーサポートセンター会員として従事	
④シルバー人材センター等地域の団体に登録	
⑤個人で依頼を受ける	
⑥マッチングサイトに登録	
⑦今後どのようにするかはまだ決めていない	
⑧その他()	

Q2 今回参加している研修をどのように知りましたか。

(複数回答可)

①所属する会社や団体からの情報	
②全国保育サービス協会のホームページ	
③全国保育サービス協会への電話での問い合わせ	
④自治体からの案内(具体的に 市区)	
⑤知り合いなどの口コミ	
⑥その他()	

Q3 どのような動機で今回の研修に参加しましたか。

(複数回答可)

①所属する会社や団体から受講を勧められた	
②今後従事する保育に受講が義務づけられている	
③認定ベビーシッター資格を取得したい	
④家庭訪問保育について学びたいと思った	
⑤子どもの保育に参考になる知識や技術を学びたいと思った	
⑥その他()	

Q4 あなたが働きたい日数や時間帯について該当するものに○をし、()に時間を記入して下さい。

(1)日数

①毎日でも働ける	
②週の半分くらい(2~3日)働ける	
③週1回程度働ける	
④自分の都合の良い日のみ働ける	

(2)時間帯

始業時間	①何時からでも可能	
	②()時()分ごろから	
終業時間	①何時まででも可能	
	②()時()分ごろまで	
宿泊	①できる	
	②できない	

(3)希望する収入(ひと月あたり) 最も近いものを選んでください。

- ①1万円未満 ②1万円以上 ③2万円以上
 ④3万円以上 ⑤4万円以上 ⑥5万円以上
 ⑦6万円以上 ⑧7万円以上 ⑨8万円以上
 ⑩9万円以上 ⑪10万円以上 ⑫15万円以上
 ⑬20万円以上

(4)担当できる(と思う)子どもの年齢層

(複数回答可)

①乳児	
②1, 2, 3歳児	
③4, 5歳児	
④小学生	
⑤中学生以上	

Q5 あなたはなぜ家庭訪問保育者になろうと思いましたか？

(複数回答可)

①一人ひとりの子どもにじっくり対応できるから	
②集団ではなく個別に子どもに対応できるから	
③働く時間を自分で選べ、時間に融通が利く仕事だから	
④持っている資格や経験を生かせるから	
⑤子育ての経験を生かせるから	
⑥保護者の子育てを支援したかったから	
⑦子どもと接する仕事につきたかったから	
⑧その他()	

Q6 家庭訪問保育のどのような点が子どもや家庭にとって良いと思いますか？
(複数回答可)

①子どもが慣れた環境で過ごすことができる	
②子どもが安心して過ごすことができる	
③子どもの状況やニーズにあわせた保育ができる	
④家庭の養育方針にそって保育することができる	
⑤子どもの生活リズムを尊重した過ごし方ができる	
⑥子どもの家族(きょうだいや祖父母、在宅勤務の保護者等)と過ごせる	
⑦体調不良の子どもが移動する必要がない	
⑧子どもの負担が少ない	
⑨その他()	

Q7 今回、受講された研修全般について満足されましたか。それぞれの項目について、一つ選び○をしてください。

①時期・スケジュール	1. とても良かった 2. 良かった 3. あまり良くなかった 4. 全く良くなかった
②講義内容	1. とても参考になった 2. 参考になった 3. あまり参考にならなかった 4. 全く参考にならなかった
③講師の進め方	1. とてもわかりやすかった 2. わかりやすかった 3. ややわかりにくかった 4. 非常にわかりにくかった
④会場	1. とても良かった 2. 良かった 3. あまり良くなかった 4. 全く良くなかった
⑤その他 上記で3, 4に印をつけられた場合は、具体的に理由等をお書きください。	

Q8 家庭訪問保育者としてさらに向上するために、あなたが獲得したいスキルや知識をお選び下さい。
(複数回答可)

①保育技術に関すること (遊び、食事、排泄等の生活面での援助の仕方など)	
②保育の原理や理論に関すること	
③子どもの発達や心理についての理解	
④保護者理解と対応	
⑤事故・災害時の対応・救急法	
⑥子どもがかかりやすい病気や症状についての理解	
⑦リスクマネジメントと賠償保障、法的責任など	
⑧資格の取得のための知識 資格名 ()	
⑨その他 ()	

Q9 家庭訪問保育者としての経験年数をお選び下さい。
(該当番号をご記入下さい:以下同様)

- ①なし ②1年未満 ③1年以上3年未満
④3年以上5年未満 ⑤5年以上7年未満
⑥7年以上10年未満 ⑦10年以上15年未満
⑧15年以上

Q10 あなたの年齢をお選び下さい。

- ①20歳未満 ②25歳未満 ③30歳未満
④35歳未満 ⑤40歳未満 ⑥45歳未満
⑦50歳未満 ⑧55歳未満 ⑨60歳未満
⑩65歳未満 ⑪65歳以上

Q11 保有する保育に関する資格や免許に○をして下さい。
(複数回答可)

①特にない	
②ABA・ACSA 認定ベビースITTER資格	
③保育士	
④幼稚園教諭	
⑤看護師・保健師・助産師	
⑥小学校教諭・養護教諭	
⑦他保育関連資格()	

Q12 育児経験はありますか。

- ①経験がある ②経験はない

Q13 あなたが「家庭訪問保育」以外に従事したことがある保育形態を選んで○をして下さい。(複数回答可)

①幼稚園		⑤事業所内保育施設	
②保育所		⑥家庭的保育	
③認定こども園		⑦その他の保育事業 ()	
④認可外保育施設		⑧ない	

ご協力いただきありがとうございました。

平成30年度「在宅保育論」履修者調査票

この調査は、公益社団法人全国保育サービス協会（前身団体：社団法人全国ベビーシッター協会）が実施するものです。保育士養成課程において「在宅保育論」を履修し、認定ベビーシッターの資格取得を目指す方を対象に調査をすることにより、「在宅保育論」の充実と家庭訪問保育を普及・発展させるための基礎資料とすることを目的としています。調査でお聞きする内容は、コンピュータで処理をし、統計的に分析します。収集されたデータについては注意を持って取り扱い、回答された方の個々のデータが公表されることはありません。ご協力をよろしくお願いいたします。なお、この調査では、従来のベビーシッターを家庭訪問保育と呼び、保育に従事する方は家庭訪問保育者と呼びます。

Q1 あなたが所属する保育士養成校の学校種別をお選びください。

（該当番号をご記入下さい：以下同様）

- ①4年制大学 ②短期大学 ③専門学校

Q2 「在宅福祉論」を履修した学年をお選びください。

- ①1年生 ②2年生 ③3年生
④4年生

Q3 あなたはどのような動機から、「在宅保育論」を履修しようと思われましたか。該当するものに○をしてください。

（複数回答可）

① 資格が取れる	
② 就職に有利だと思った	
③ 在宅保育や家庭訪問保育に関心があった	
④ あまり知られていないので、興味を持った	
⑤ 自分の子育ての参考になると思った	
⑥ その他 ()	

Q4 家庭訪問保育の経験はありますか？(アルバイトを含む)

- ①経験はない
②経験がある

どういう家庭訪問保育か具体的にお書き下さい。

()

Q5 あなたにとって、「在宅保育論」はどのような点が参考になりましたか？

（複数回答可）

① 子育て家庭のニーズを把握できた	
② 家庭での子育ての方法を学べた	
③ 在学中に学んだことの総まとめになった	
④ 個別に対応する保育について学べた	
⑤ 家庭訪問保育の方法や技術を学べた	
⑥ ベビーシッター事業について知識が得られた	
⑦ 多様な保育を知ることが出来た	
⑧ その他 ()	

Q6 家庭訪問保育のどのような点が子どもや家庭にとって良いと思いますか？

（複数回答可）

① 子どもが慣れた環境で過ごすことができる	
② 子どもが安心して過ごすことができる	
③ 子どもの状況やニーズにあわせた保育ができる	
④ 家庭の養育方針にそって保育することができる	
⑤ 子どもの生活リズムを尊重した過ごし方ができる	
⑥ 子どもの家族(きょうだいや祖父母、在宅勤務の保護者等)と過ごせる	
⑦ 体調不良の子どもが移動する必要がない	
⑧ 子どもの負担が少ない	
⑨ その他 ()	

Q7 子ども・子育て支援新制度では、居宅訪問型保育事業や一時預かり事業(居宅訪問型)が創設されましたが、「家庭訪問保育」のような保育が普及し、必要とする子育て家庭が利用できるようになることは必要だと思いますか。

あなたの考えに最も近いものを一つ選び、○を記入してください。

① とても必要だと思う	
② やや必要だと思う	
③ わからない	
④ あまり必要ないと思う	
⑤ まったく必要ないと思う	

ご協力いただきありがとうございました。